

香芝東中学校 学校だより



令和7年3月18日
No. 11
校長 増田一成

本校、第41回目の卒業証書授与式(3/14)が無事に終わりました。今年は来賓の皆さまを多数お迎えし、在校生(2年生)も出席して、多くの保護者の皆さまが見守る中、盛大に実施することができました。卒業生の入退場は、吹奏楽部の皆さんが演奏してくれ、式を盛り上げてくれました。



3年生の皆さんの中学校生活はコロナウイルスの影響を受け、マスク越しの出会いから始まりました。友達と距離を取ることや、表情や反応が分からないなど戸惑いも多くあったと思います。マスクを外せないことなど学校生活には多くの制限がありました。そんな中学校生活でしたが、2年生になってからは制限も緩和され、友達との距離も一気に縮まったと思います。5月の修学旅行は皆さん、本当に楽しそうでした。部屋では友達とゆっくりと会話ができたと思います。沖縄の大自然に囲まれてのマリン体験や平和祈念公園での平和宣言など、つい最近のことのように思い出されます。夜のレクリエーションは大いに盛り上がりました。10月の体育大会は、心も体もたくましくなった皆さんの躍動する姿を見ることができました。東中ソーラン、創作ダンスは見事でした。音楽会はさすが3年生でした。力強くきれいなハーモニーに感動しました。クラスの団結力、最上級生としてのプライドを歌声から感じました。部活動においても各種大会やコンクールでの活躍は素晴らしく、他校の生徒や先生から「香芝東はどの部も強い、熱心や」と言っていました。心身共に成長した皆さんの姿はまぶしく、素晴らしいものでした。このような皆さんの姿勢は先輩たちから受け継いできたものだと思います。皆さんの3年間は本校の歴史、伝統として後輩諸君にもきっと受け継がれていくと思います。



昨年は、スポーツ界を中心に明るい話題が多くありました。夏におこなわれたパリオリンピック、パラリンピックでは日本は海外開催のオリンピックにおいては、過去最多のメダルを獲得しました。中でも、皆さんと同じ年代の「若い選手」の活躍がありました。女子スケートボードでは14歳の吉沢恋選手が初出場で金メダルを獲得しました。大リーグ、ドジャースの大谷翔平選手の活躍は世界中の人が知るところとなっています。今シーズンはどんな活躍をしてくれるか楽しみです。皆さんにも無限の可能性が 있습니다。皆さんには、日々感謝のこころを忘れることなく、未来に向かって進んでほしいと願っています。香芝東中学校で身に付けた「切磋琢磨する姿勢」も忘れないで欲しいです。継続は力なり、努力あるのみ。自分を信じ、これからの人生を切り開いてください。それぞれの道で素晴らしい花を咲かせてください。この先、もし困った事があれば、そのときはいつでも、この母校に顔を出してください。いつまでも変わらない香芝東中学校があるはずですが3年生の保護者の皆さま、ご卒業、おめでとうございます。教職員一同、お子様の成長を見守りつつ精一杯努力したつもりではありますが、至らぬ点多々あったことだと思います。それにもかかわらず本校の教育に、深いご理解と格別のご協力を賜りましたこと、お礼申し上げます。ありがとうございました。(文面は卒業式の式辞の抜粋です)



3年生を送る会(3/12)も全校で実施しました。生徒会役員の皆さんが中心になって企画し、有志やクラスからの発表、各部活動からのメッセージなどで3年生に感謝の気持ちを伝えました。後半は3年生の先生方からのお祝いなどもあり、大変盛り上がりしました。

卒業式も終わり、令和6年度の年間行事も3月24日(月)の1、2年生の修了式で全て終了となります。保護者の皆さまにおかれましては、本校の諸活動を1年間温かく見守っていただきありがとうございました。春休みに入りますが、お子様の様子で気になることがありましたら連絡、相談をお願いいたします。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

東風(こち)、令和6年度 最終号

